

生涯遊び心研究プロジェクト

小松 歩・瀧口 優*・金田 利子**・山路 千華***

活動実績の概要

はじめに

2009年度幼稚園園舎の一部建て替えに合わせてスタートした研究プロジェクトの中から「生涯遊び心プロジェクト」は始まり、以後10年、遊びと遊び心をテーマに研究を重ね、研究調査と保育学会等での発表を重ねてきた。昨年度、それらを総括する形で『世代を超えた遊び心でコミュニティーの再生を』の出版を行うことができた。2021年度は、継続して学会報告を行うとともに、公開講演会を実施した。

1. 研究の経過

計画に沿って研究会を開催した。昨年度から準備をすすめた研究のまとめの出版について、コロナ禍の影響や郵便事情により、校正原稿のやり取りに時間がかかり、引き続き校正を行うこととなった。5月の日本保育学会では、「遊びごとろとコミュニティ形成—公園に関する調査と地域・行政をつないで—」という題目でオンライン発表を行った。11月以降は、公開研究会に向けて準備をすすめた。本研究会の取り組みについては、2020年度保育学会で自主シンポジウムを企画していたが、コロナ禍により実施できなかったため、改めて公開研究会を行うこととした。

回	月	日	内容	備考	場所
1	4	12	研究会	保育学会準備	小松研究室
2	4	25	研究会	出版原稿一次校正	小松研究室
3	5	15	保育学会	2021年度保育学会にて発表	富山大学（オンライン）
4	8	10	研究会	書籍出版原稿二次校正	小松研究室
5	9	20	研究会	書籍出版原稿最終校正	小松研究室
6	11	15	研究会	公開研究会内容検討	小松研究室
7	1	10	研究会	公開研究会内容検討	小松研究室
8	2	23	研究会	公開研究会準備	小松研究室
9	3	21	研究会	公開研究会（春の講演会）	F23（オンライン併用）

2. 研究の成果と課題

本研究プロジェクトのまとめである出版企画『世代を超えた遊び心でコミュニティーの再生を』を出版することができた。昨年度5月の保育学会の自主シンポジウム「遊びと遊び心の違いと関連性」はコロナ禍の影響で開催できなかったため、今年度出版報告も兼ねて公開研究会を開き、シン

ポジウム登壇者の一人、麻生武氏を招き「親の遊び心・保育者の遊び心・子どもの遊び心」と題して講演していただいた。参加者は多くはなかったが、遊び心の捉え方や重要性について討論することができた。

今後も、遊び心についての検討を継続するとともに、本書の提言を具体化していくために、遊び心を研究されている研究者を招いて講演会等を行う予定である。

* 白梅学園短期大学名誉教授

** 客員研究員 フェリシアこども短期大学

*** 客員研究員 白鷗大学